



アーサー・ハート=シノット書簡

--- 明治～昭和初期、日本人女性への約 900 通の手紙

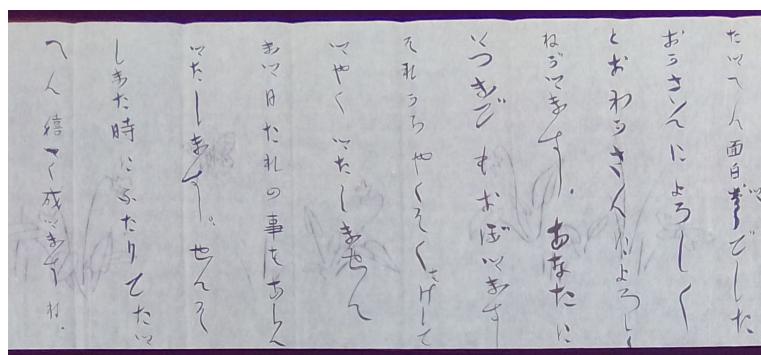
■ アーサー・ハート=シノットと鈴木まさ

この書簡は、20世紀前半（明治末～昭和初期）、イギリス陸軍の男性であるアーサー・ハート=シノットが、配偶者である日本人女性の鈴木まさに宛てて書いたものです。

差出人であるアーサー・ハート=シノットは、1870年生まれ。ロンドンの陸軍大学で東洋地域の言語を学んでいます。その後陸軍の武官として1902年に日本のイギリス大使館に赴任し、日本語を生かしつつ任務に就いていました。その東京で、深川の床屋の家に生まれた鈴木まさと出会い、所帯を持つことになりました。家を構え、2人の子供ももうけましたが、アーサー自身はイギリス陸軍に属する身のため、日本でまさとともに過ごすことができた時間は決して多くなかったと思われます。そのアーサーによって国外から送られた膨大な数の手紙が、日本のまさのもとに残されていました。

アーサーからの手紙は、1904年から1931年にかけてのおよそ30年間、当館に寄贈されるに至ったもので約900通に及びます。ある時には日露戦争や第一次世界大戦の戦地から、戦争の被害と悲惨さを。またある時には赴任先の香港、帰国先のイギリスやアイルランド等の世界各地から、遠い日本の方に住む愛する女性へ向けてのさまざまな想いが綴られています。そこには、20世紀前半の世界情勢と戦地の現状、日本やイギリス等の各地の社会状況、人々の間にあった思想・価値観やそれぞれの感情の動き等が描かれ、個人間の書簡であるからこそその描写や心情の吐露には現実味が強く感じられます。

例えば日露戦争のため日本軍に同行して中国大陸にわたったアーサーからの、手紙にはこのようなことが書かれています。



「私はほかの武官と一所に皆一つ家にすんで居ます。一寸せまいですけれどもしかたがない。さむさがおそろしくひどい。」「せんそしました（註：戦争が終わった）時にふたりでたいへん嬉く成りますね」(1904.12.25)

その後たびたび来日する等してまさとともに過ごす時間を持っていたアーサーですが、イギリス政府から再度の日本赴任を許されることはませんでした。そして第一次世界大戦の激戦地であるフランス・ソンムで、大規模な砲撃の被害に遭い、両足を失ってしまいます。結果、アーサーは日本に住むことをあきらめ、まさに別れを告げます。

「どうしても日本へ帰る事が出来ません」「自分の国の女から嫁を貰ひます。これをほんとに云ひにくいです」「御許、御許、御許下さい。」「かなしいかなしいあーさーより」(1919.6.8)

手紙のやりとり自体はその後も続き、アーサーの妻・バイオレットとの文通、関東大震災、長男・清の京都帝国大学入学等を経たのち、1931年、満州事変が勃発した年の冬まで、当館所蔵の手紙は終わっています。

まさがなくなつた(1965年)後、遺族のもとにのこされていたこの手紙をもとに、NHKラジオの特別番組『日本人になりたかった男』(1987年)が製作・放送されました。関連書籍も日本語や英語で数点が刊行されています。

その後、放送や出版に関連する人々のもとを経て、当館へ寄贈されるに至りました。

■ 日文研所蔵のアーサー書簡

日文研図書館では、書簡1点1点を中性紙の封筒に納め、さらに全884通の封筒を文書箱3箱に納めて保管しています。なお書簡のいくつかにはアーサーがまさのために送った押し花が同封されているものもありました。万が一虫害が拡散してしまうおそれも考慮し、無酸素化による殺虫処理も実施しています。

なお、大半が100年以上経過しているものの、状態はいたって良好であり、手に取ってじっくり調査・閲覧するのに特に支障はありません。



■ この資料の概要

資料名：鈴木まさ宛アーサー・ハート=シノット書簡

書誌URL：<https://toshonin.nichibun.ac.jp/webopac/BB10721242>

配置場所：S3和装

請求記号：YR/8/Ha

資料ID：006318901

数量：書簡895通(文書箱3箱分)

年代：1904年-1936年

言語：日本語

刊写：写(自筆)

● 閲覧等利用

閉架および特殊資料のため、閲覧は貴重書閲覧室でのみ可能です。

事前に貴重書閲覧室の予約を必要とします。

(センター外の方は、所属大学の図書館または公共図書館等を通して予約)

● レファレンスツール等

- アーサー・ハート=シノットの手紙一覧(番号付き簡易リスト)
- 各手紙の内容(本文意訳)および備考をまとめた文書
- 各手紙の内容(本文英語訳)をまとめた文書

● 関連資料

- 葉月奈津,若林尚司著.『ピーチ・ブロッサムへ：英國貴族軍人が変体仮名で綴る千の恋文』.藤原書店,1998.
- Peter Pagnamenta and Momoko Williams.『Sword and blossom : a British officer's enduring love for a Japanese woman』. Penguin Press, 2006.
- 江上敏哲.「<センター通信>」「かなしいかなしい あーさーより」：鈴木まさ宛アーサー・ハート=シノット書簡.『日文研』. 2025, 70, p.20-27.